

科目名	国語法					単位	2.0
担当教員	石川 洋子						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	1	授業番号	1405

●授業のテーマ

国語の文法について理解を深める。

●到達目標

諸文法学者による文法学説があることを理解し、また、種々の言語事実を解釈し帰納して法則成立に至る推論の過程を理解する。

●学習内容(授業概要)

母国語としての日本語の文法について、諸文法学者による研究の成果である定説を暗記するだけでなく、種々の言語事実を解釈し帰納して法則成立に至る推論の過程を理解することに重点を置いて講義する。

●学習内容(授業計画)

≪前期≫

1. 文法とは何か
2. 文法に諸説があるということ
3. 文章と文の種類
4. 文の構造
5. 文節の構造
6. 単語とは何か
7. 単語を分類すること
8. 単語の種類 (1) 名詞・代名詞
9. 単語の種類 (2) 動詞
10. 単語の種類 (3) 形容詞
11. 単語の種類 (4) 形容動詞
12. 単語の種類 (5) 連体詞・副詞・接続詞
13. 単語の種類 (6) 助動詞
14. 単語の種類 (7) 助詞
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

準備学習は、テキストの下読みをしておく。

事後学習は、学習の要点をまとめておく。

●成績評価方法・基準

学期末試験 60%、平常点 40%

●テキスト(必携)

≪No.1.≫書籍名：古今和歌集、著者名：小町谷照彦 訳注、出版社：ちくま学芸文庫、販売先：(株)D○

●参考文献／その他
講義時に指示する。

●履修上の注意
テキストは毎回使うので、必ず購入すること。